

【2012 年 10 月 25 日発行】

■ 厚労省人事労務マガジン／特集第 80 号 ■

【今号の内容】

- オンライン申請をご存じですか？
～ 社会保険・労働保険手続きの効率化、コスト削減のために ～
- 労使がともに協力し労働時間の短縮を！
～ 11 月は「労働時間適正化キャンペーン」期間です ～
- 明日から「第 50 回 技能五輪全国大会」が開幕します
～ 青年技能者たちの「技」日本一の座をめぐる戦い ～
- 労働政策フォーラム「経営資源としての労使コミュニケーション」のご案内
～ 大阪国際交流センター（大阪市）で開催 ～

オンライン申請をご存じですか？

～ 社会保険・労働保険手続きの効率化、コスト削減のために ～

インターネットを使って、社会保険や労働保険の手続きができるのをご存知ですか？

「電子政府の総合窓口（e-Gov：イーガブ）」の電子申請システムなら、役所の窓口に行かなくても、24 時間いつでも社会保険や労働保険の手続きが行えます。コストの削減や業務効率の向上のために、オンライン申請をぜひご利用ください。

【オンライン申請のメリット】

- （１）移動時間や交通費、事務手続きにかかるコストが削減できます
オンライン申請なら、年金事務所、ハローワーク、労働基準監督署などの窓口へ行く必要がなく、コストの削減が期待できます。

＜例えば A 社の場合＞ → 年間 15,000～20,000 円程度の削減が可能
・ 書面申請のコスト（交通費や人件費）・・・・・・・・・・約 30,000 円
・ オンライン申請のコスト（電子証明書の取得費など）10,000～15,000 円程度
※試算に当たっての仮定条件については下記のホームページをご覧ください。
- （２）申請書の作成が簡単で、事務効率が向上します

わざわざ申請・届出用紙を入手する必要がなく、複数の手続きを一括申請することもできます。

また、前年度の申請書を基に翌年度の書類が作れますので、最初から作成する必要がなく、手間が省けます。入力チェック機能などにより、記入漏れや誤りなどを防ぐことができます。

<毎年、申請が必要な主な手続き>

- ・雇用保険被保険者資格取得届／喪失届 [3月～4月（随時）]
- ・健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届／喪失届 [3月～4月（随時）]
- ・健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届 [7月、12月など]
- ・健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届 [7月（年1回）]
- ・労働保険概算・増加概算・確定保険料申告書 [6月（年1回）]

【詳しくはこちら】

http://www.mhlw.go.jp/shinsei_boshu/denshiseihu/dl/other-01.pdf

労使がともに協力し労働時間の短縮を！

～ 11月は「労働時間適正化キャンペーン」期間です ～

あなたの企業の大切な「人財」は、働き過ぎになっていませんか。

平成23年の統計によると、1週間の労働時間が60時間以上の労働者の割合は9.4%となっています（総務省「労働力調査」）。特に、子育て世代に当たる30代男性では18.4%と高い水準にあり、長時間労働の実態が見られます。

厚生労働省では、過重な労働時間の改善に向けた労使の取り組みを促すために、本年度も11月に「労働時間適正化キャンペーン」を実施します。

時間外・休日労働を削減するなど、労働時間の適正化に取り組めば、労働者の健康障害防止が図られるだけでなく、業務効率化による生産性の向上、時間外労働手当の削減などの効果も期待できます。

<キャンペーンで重点的に取組を行う事項>

- （1）時間外労働協定の適正化などによる時間外・休日労働の削減

- (2) 長時間労働者への医師による面接指導など、健康管理に関する措置の徹底
- (3) 労働時間の適正な把握の徹底

この機会に、皆さまの会社でも(1)長時間労働が行われていないか、(2)長時間働いた労働者に適切な健康管理がなされているか、(3)労働時間をきちんと把握しているかなどを点検し、労働者や労働組合の理解も得ながら、その改善に努めていただきますようお願いいたします。

【詳しくはこちら】

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/campaign.html>

明日から「第50回 技能五輪全国大会」が開幕します
～ 青年技能者たちの「技」日本一の座をめぐる戦い ～

明日10月26日(金)から「第50回 技能五輪全国大会」が開幕します。

長野県松本市の「キッセイ文化ホール」など県内13会場で、地方大会などを勝ち上がった約1100人の選手が、「技」日本一の座をめぐり競い合います。

この大会は、23歳以下の技能者が日頃の鍛錬の成果を競い合い、レベルアップを図る場として、また、技能の重要性を一般にも広くアピールする場として、昭和38年から毎年開催されています。

大会では、機械組立てや旋盤などの機械系の種目から、建築大工、ウェブデザインや美容まで、幅広いジャンルに渡る40職種で競技が行われます(一部職種は先行して開始)。

第50回の節目を迎える今大会で、全国トップレベルの青年技能者たちの「技」をご覧ください(入場自由)。

また、下記の「長野技能五輪・アビリンピック2012」ホームページにおいて当日の競技の模様をリアルタイム配信しますので、併せてご覧ください。

1 日程：

開会式 10月26日(金) 14時30分～16時00分

競技 10月27日(土)～28日(日)

閉会式 10月29日(月) 9時00分～12時00分

2 開閉会式会場：キッセイ文化ホール 大ホール(長野県松本市)

3 競技会場：やまびこドームなど 松本市内8会場

諏訪湖イベントひろば・ホールなど 諏訪市内5会場 計13会場

4 主 催：厚生労働省、長野県、松本市、諏訪市、中央職業能力開発協会

【長野技能五輪・アビリンピック 2012】

<http://www.waza-can.com/nagano-skills>

【中央職業能力開発協会ホームページ】

<http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/zenkoku/index.html>

労働政策フォーラム「経営資源としての労使コミュニケーション」のご案内
～ 大阪国際交流センター（大阪市）で開催 ～

独立行政法人 労働政策研究・研修機構では、11月9日（金）に労働政策フォーラム「経営資源としての労使コミュニケーション」を大阪国際交流センターで開催します。

良好な労使関係を築くことは、企業の発展、労働条件の向上にとって重要で、大きな「経営資源」となります。

このフォーラムでは、労使関係の現状を明らかにするとともに、これからの労使関係はどうあるべきかを、研究者、労働組合、経営者の視点から議論します。

多くの皆さまの参加をお待ちしています（参加無料）。

<開催概要>

- ・ 日 時：11月9日（金） 13時30分～17時00分
- ・ 場 所：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）
- ・ 参加費：無料（要予約、定員300名）
- ・ 内 容：研究者による研究報告、企業、労働組合による事例報告、
パネルディスカッション

【プログラム内容、お申込みはこちら】

http://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20121109/info/index.htm

- ★配信停止の手続き <https://krs.bz/roumu/m?f=8>
- ★バックナンバー <http://merumaga.mhlw.go.jp/backnumber/index.html>
- ★登録に関するお問い合わせ <https://krs.bz/roumu/m?f=11>
- ★メルマガの内容に関するお問い合わせ（厚労省ホームページ「国民の皆様の声」へリンク） <https://www-secure.mhlw.go.jp/getmail/getmail.html>
- ★編集：厚生労働省

- 当メールマガジンは外部の電子メール配信サービスを利用して行っています。
 - 登録していないにもかかわらず本メールが配信された場合は、他の人が間違えて登録した可能性がありますので、配信停止の手続きをお願いします。
 - 当メールマガジンの送信元アドレスは送信専用となっています。
 - 携帯メールなどには対応しておりません。
 - 可能であれば等幅フォントにてご覧ください。
 - 当メールマガジンの内容の全部または一部については、私的使用または引用など著作権法上認められた行為として、出所を明示することにより、引用、転載、複製を行うことができます。
-